

2026年9月28日

各 位

三 笠 製 薬 株 式 会 社

代表取締役社長 緒方 祐介

Maxigesic® IV、日本における独占的開発・ライセンス・供給契約締結のお知らせ

三笠製薬株式会社（以下「当社」）は、このたび、AFT Pharmaceuticals Limited (NZX:AFT、ASX:AFP、以下「AFT社」）が開発した静注用配合鎮痛薬「Maxigesic® IV」（別名「Combogesic® IV」）について、日本における開発および商業化を目的とした独占的な開発・ライセンス・供給契約をAFT社との間で締結しました。

本契約に基づき、当社はAFT社から日本における本製品の製造販売承認の取得および商業化に関する独占的ライセンスを取得します。当社は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）への薬事申請を主導し、製造販売承認の取得を推進するとともに、日本市場における本製品の開発および販売を担当します。一方、AFT社は本製品の開発および販売を担当します。

Maxigesic® IVは、疼痛管理を目的としてAFT社が開発した、パラセタモール（1,000 mg）およびイブプロフェン（300 mg）を含有する独自の非オピオイド系注射用配合剤です。本提携を通じて、当社は日本の患者様および医療従事者の皆様に、新たな治療選択肢を提供することを目指します。

本契約に基づき、当社はAFT社に契約一時金を支払うほか、日本における薬事申請の進捗および薬価収載に応じた開発マイルストーン、ならびに発売後の売上高に応じたロイヤルティを支払います。また、当社はAFT社から最終製品の供給を受けます。なお、本ライセンス契約の締結にあたっては、株式会社新日本科学（[TSE: 2395](https://www.tse.co.jp/2395)）の支援を受けています。

三笠製薬について

<https://www.mikasaseiyaku.co.jp/>

三笠製薬は、「医薬品を中心に、健康産業を通じて社会に貢献する。」という企業理念のもと、創業以来、整形外科領域を中心とした医薬品の研究開発・製造・販売に取り組んでまいりました。今後も、医薬品の提供を通じて、人々の健康と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

AFT Pharmaceuticalsについて

www.aftpharm.com

AFT Pharmaceuticalsは、ニュージーランド発の成長を続ける多国籍製薬企業です。一般用医薬品（OTC）、処方箋医薬品、病院向け医薬品など、主要な医薬品流通チャネルを通じて、幅広い治療領域にわたる多様な医薬品ポートフォリオの開発、販売および流通を行っています。製品ポートフォリオは、自社開発製品および導入製品の双方からなり、特許取得済み医薬品、ブランド医薬品、ジェネリック医薬品で構成されています。AFT Pharmaceuticalsは、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、マレーシア、香港、米国、カナダ、EU（アイルランドを除く）、英国の各市場向けに製品を開発・導入するとともに、世界125カ国以上の現地ライセンシーおよび販売代理店を通じて製品を展開しています。

以上